

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	TOKUZOジュニア西川口教室		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 10日		R8年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	R8年 2月 10日		R8年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広いスペースを活かしての療育を行うことができる。	スペースを広く使って、球技など大きく身体を使う活動を積極的に取り入れている。	限られた職員人数で安全に活動を行えるよう、職員配置の工夫や日々のフィードバックを行い改善につなげる。 日頃から設備や遊具の点検を行う。
2	保護者との情報共有を密に行うことができる。	毎回のサービス提供記録に加え、送迎時口頭でのフィードバックや情報共有を行っている。 日々のコミュニケーションを通し、保護者のニーズや困りごとの聞き取りに努めている。	定期的な面談に加え、通院後や入学進学前後など適宜必要なタイミングでの面談の提案を行う。

3	毎回集団療育を行い、個人活動と集団活動のメリハリのある行動を行うことができる。	個人活動、小集団活動の時間には学習支援も含め個々のニーズに合わせた活動を行っている。 日々集団活動の時間を設けることで、日常生活や学校生活に向けての訓練を行うよう努めている。	集団療育のレパトリーを増やせるよう、職員間で検討を行う。 何を狙いとした活動なのかを明確にし、職員間でも共通認識を持って活動に当たれるよう対策を検討する。
---	---	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎希望の新規利用者の受け入れが難しい。	送迎方面が多いため送迎の負担が大きくなっている。	送迎方面の整理や、近隣の系列放デイとの連携を検討する。
2	職員間での情報共有の時間が少ない。	シフト制であることや送迎に出ている時間が長いことにより職員間での情報共有が難しくなっている。	朝礼時間を取れるよう検討する。 送迎等でその場にはいない職員も後日確認できるよう、記録に残すなどで対策を行う。
3	父母の会やペアレントトレーニングの機会が少ない。	保護者からの要望が少ないため、積極的に行えていない。	要望があった際に外部の機関と繋げられるよう事前に関連機関とコンタクトを取るなど対応を検討する。